

グループ紹介⑬

老人クラブ趣味の会



お手玉作り。800個まであと一息

いくつかの小グループが不定期で活動していたものを「おおぜいの方が楽しいのでは」と一つにまとめ、61年7月に老人クラブ連合会趣味の会として発足しました。会員は50人で、毎週第1・3水曜日に老人福祉センターに集まります。会の特徴は、会員どうしが今まで覚えた知識を出し合って作る、いわば「全員が先生で生徒」という形で運営していることです。これまでに、宣伝用チラシなど不用の紙で作るアンデルセン手芸、ペーパーフラワー、おりん布団などを作り、61年と62年の2回、同センターで作品展示会を開いたほか、昨年は文化祭にも出品しました。特に昨年は作品の即売も行い、益金を基に同センターへ座布団100枚を寄付し、利用者から「ほかほかであったかい」と喜ばれています。また、文化祭終了後はお手玉作りにも取り組み、出来上がった約800個を保育園などに届けました。斉藤リセ会長は「皆さんからいろんな形で協力していただいているからできるんです」と話します。老人クラブの会員で入会したい人は斉藤会長（☎372-1682）へ。

ボケ防止にも最適です

会員の声

富取セツさん
(中央通5・79歳)

発足当時から入会していますが、これまでほとんど休んだことがありません。家に閉じこもっているより、皆さんと話し合えるので、定例日を楽しみにしています。手先や頭を使うためか、ボケ防止にもなり、皆さん元気そのものです。家でも、時間があれば何か作っています。

去る十月十七日、台風通過でかなり強風の夜八時過ぎのことです。主人が帰宅するなり「警察へ電話をする」と言います。私は事故でも起こしたのかと不安になりましたが、別に慌てている様子でもないので「372の2121ですよ」と教えながらも、電話の内容が気になってしかたありませんでした。主人の話すには、今通った国道の走行車線に、はしごが二本落ちていて交通の障害になるので、道路端へ寄せてきたから警察で保管してくださいとのこと。はしごは、大型トラックに重機などを載せるときに使うアルミ製の大きなものでした。

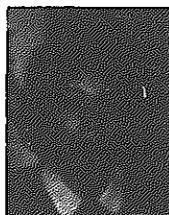


長谷川小夜子さん（高井興野・主婦・43歳）

ある日の出来事

身近に感じた警察

それから少しして、落とし主がわかり、現場へ取りに向かったと、警察から電話がありました。交通事故が起きる前に落とし主に戻ったことをうれしく思いました。ところが翌朝また警察から電話があり、現場には一



小林文江さん（砂原甲・会社員・44歳）

人間にも勝る親の情愛

三年前、息子が学校の帰りに捨て猫を家に連れてきた。親と別れてどこをどうさまよったのか、息子を命の恩人のように懐いた。いつしかお勝手に立つ私にえ

さ求めては、足に体を擦りつけたり、肩に飛び乗っては座つたりしている。私は別に猫が好きでもなかったが、猫は人懐っこくかわいくて、子供が増えるように扱い、そして家族の愛

本しかなかったが、確かに二本落ちていたか、との確認でした。二本を対にして使う物なので、親切な人が警察に運んでくださり、無事に落とし主に戻ればよいのにと話し合いました。今まで、警察と言えど事故か泥棒の通報くらいしか頭になかった自分が恥ずかしくなり、それと同時に、警察がいかに日常生活の身近にある機関であるかを認識した出来事でした。

影を潜めた「よい返事」

長沢一衛さん（戸石・80歳）

何年前か忘れましたが、教育委員会と学校の先生に、子供の言葉の是正をお願いしたことがあります。その当時、子供たちは父親を「つかつあ」、母親を「かか」と呼んでいました。先生がたの御指導で、父親は「お父さん」、母親は「お母さん」と一律に実行されたことに驚き、敬意を表し喜んでいました。しかし、そのとき御指導がなかったのか、家庭だけでなくよ

その人からでも、何か言葉をかけられたり質問されたりして「はい」とか「はあ」とか言われた言葉が影を潜めました。何を聞かれても「うん」とか「おお」とかの返事が、また一律に広がりました。私も老骨から考えると不思議に思います。この返事も「はい」とか「はあ」とかいうように御指導くださるよう、先生がたにお願い申し上げます。

市民談話室

「市民談話室」は、市民の皆さんの意見交換の場です。テーマは自由。あなたの周りの最近の出来事、ふだん思っていること、市に対する意見など、堅く考えず気軽に投稿してください。紙



百年の大計「ほ場整備」でよみがえった農地

ほ場整備前は、果樹土は浅くて地下水は上高六メートルもある高しなから、排水不備でと用・排水路はほんとは枯れる木が出てきて水田は湿田がほとんど

仲間づくりで

世の中とのバランスを取る

阿部静江さん（白井・自営業・51歳）

時代の変化が速いため、自身自身が何もしないで無為の時を過ごしていると、世の中とのバランスがどんどん取れなくなってしまうことがあります。世の中の不満やけんかとかは、ただただ互いのバランスが取れていないだけ。それでもう一度、私たち身近な所からバランスを考え、村の婦人会OBで「もみじ会」を始めました。市からの協力もあり、月一回テーマを決めて勉強し、終わってからミーティング。当番を決めて食事を作り、お互いの心の

中に秘めている考え、意見を出して話し合います。よいことは学び、決して人の悪口は言わず、お互いのバランスを取り合いながら、よい仲間づくりをしています。花に合った器、器に合った花それが似合ってバランスが取れ美しい。身体に栄養のバランスがたいせつなように、世の中すべての面にバランスが取れてこそ平和だと思えます。これからの高齢化社会に向け、悔いのない人生を送りたいと思います。

影を潜めた「よい返事」

長沢一衛さん（戸石・80歳）

その人からでも、何か言葉をかけられたり質問されたりして「はい」とか「はあ」とか言われた言葉が影を潜めました。何を聞かれても「うん」とか「おお」とかの返事が、また一律に広がりました。私も老骨から考えると不思議に思います。この返事も「はい」とか「はあ」とかいうように御指導くださるよう、先生がたにお願い申し上げます。

市民文芸

俳句

夕暮れに一人淋しき置垣越 玉木 長吉
雪背負いなを美しき寒椿 渡辺 勤

川柳

ハワイツアービキニの水着試着する 竹石 甚五
年一度午前零時のお目出度さ 田中 成子
放浪の旅で身につく園籠り 田村 恒夫
サラダより川柳記念日葉書買う 中村 尚治
実らない恋アルバムを追い出され 西条 ムラ
マンガから教えてもらおう処世訓 早川 英男
寝たきりの指アルバムの笑みに触れ 山岡 フミ
死に体が金星纏む土俵際 吉川 彰
円と舞鶴引き兼土俵を練る 米野 光雄

アルバムに気取った妻もいた昔

遺影背に生きるよ決めた母子家庭 岡村 清
変装で復活を待つ売上税 後藤マサノ
唇には乾らぬ夫婦のめでた日 佐藤トミノ
雪不足思案を吐いているスキー靴 佐藤トミノ
物語りもわがらの龍の魂と礎 高橋祐四雄
会費集金 だれでも気軽にしてくれる川柳を勉 強してみませんか。

短歌

思いの深名の如枝色分け咲くを 網の静かな部屋に捲え置く 中村 亮